

大切な地球を守るために

静岡市内小学校

森さん

私はランニングをすることを日課にしています。そのとき、自動車から出る排気ガスでのどが痛いと感じました。また、室外機から出る熱い空気が環境に悪いのではないかと思いました。その日から、環境のことについて考え始めるようになりました。

私が実際に環境とふれあった出来事は二つあります。

一つ目は「全国百万人ゴミ拾い三保松原」に参加したことです。世界遺産である三保松原ですが、砂浜には沢山のゴミが落ちていました。特に多かったのは、海の生き物が多く被害を受けているプラスチック製の袋です。世界遺産である場所なのに、なぜこんなにゴミが落ちているのかなと思いました。観光客に楽しんでもらうためにも、ゴミ一つ落ちていない砂浜にするべきだと考えました。

二つ目は、「渚の植物観察会」です。海岸にあるたくさんの植物を探しました。初めて見る植物やとてもきれいな植物があり、感動しました。その美しい自然を守りたいと思いました。この体験でゴミ拾いをするのも大切ですが、美しい自然とふれあっていくことも、環境を守っていくうえでとても大切なことであると感じました。

私が考えた環境保全の意義は、これからも生き物に安全な環境を保つことです。自然は、さまざまなことを楽しませてくれるし、動物たちが住む、大切なところだからです。

そのために、対策・実践活動は次のようなことを行うといいと思います。

まず、地球温暖化では、電気をむだに使わないように呼びかけることです。その内容はエアコン・照明など必要ないときは使用せず、大切に使うことです。

次にゴミ問題では毎日ゴミ拾いをしながら登校することです。そして、月に一度登校するまでに拾ったゴミの量を量り、一番重かった人が学校の環境大臣になるという取り組みをすればいいと思います。そうすれば、楽しくゲーム感覚で地球をきれいにできる効果があると思うからです。

また、地球温暖化とゴミ問題のことで、ポスターの掲示・パンフレットの配布をすれば、環境を大切にしようと思う人が増えてくると思います。内容は、現在の状況、地球温暖化の原因、ゴミによる被害、私達にできることです。ポスターを掲示すればいろいろな人が見てくれると思います。しかし、家で実際に取り組みという人は少ないかもしれません。そこで、パンフレットを配れば、危機意識が高くなり、実際に取り組みと思う人が増えてくるでしょう。

これらのことを行って安心・安全に過ごせる環境にしていきたいと思います。私達人間が環境を悪くしてしまったので、その責任をもつて取り組んでいきたいです。将来は、環境問題がない地球にしたいです。そして、この地球が緑あふれる豊かな星になることを願っています。